

京のアジェンダ 21 フォーラム

2007（平成 19）年度総会議案

日時：2007(平成 19)年 6 月 15 日（金）18:00～19:00

場所：ぱ・る・るプラザ KYOTO 7 階 スタジオ 1

第 1 号議案 2006(平成 18)年度事業報告について

第 2 号議案 2006(平成 18)年度収支決算について

第 3 号議案 2007(平成 19)年度活動方針及び事業計画について

第 4 号議案 2007(平成 19)年度収支予算について

第 5 号議案 幹事及び監事の選任について

京のアジェンダ 21 フォーラム

第1号議案 2006(平成18)年度事業報告について 2006(平成18)年度事業報告(案)

京都市における持続可能な地域・社会づくりを目標として設立したフォーラムも、発足から8年たちました。設立当初の熱気が冷め、成果がなかなか目に見えて現れないというような課題を受け、昨年度、フォーラム改革プランをまとめました。本年度、フォーラムはそのプランを踏まえ、改革に向けて進みだしました。

なかでも、下記の3点を主要事業として取り組み、それぞれ大きな成果をあげることができました。

- ・幹事会や事務局など組織の機能整備を中心とした、フォーラム改革プラン2006の実行(詳細p3)、
- ・具体的で有効な地球温暖化防止の取組を創出するプロジェクトの実施(詳細p2)、
- ・市民、NPO、企業、行政等、幅広い関係者が積極的に参加し、連携して社会の仕組みを少しでも変えていくことを見据えた脱温暖化行動キャンペーンの実施(詳細p1)

こうした事業を通じて、市民に、地球温暖化の防止を軸とした持続可能な京都づくりへの意識を高め、具体的な行動を促すことができました。また新たな事業の創出・育成が進み、より幅広い主体とのパートナーシップが育ちました。

1 事業報告

(1) 地球温暖化防止に向けた市民の行動を促すキャンペーン 2007年2月実施

2007年2月に京都議定書発効2周年を迎えるのを機に、京のアジェンダ21フォーラムは、京都市、京都府、京都商工会議所、(社)京都工業会、京と地球の共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センターとともに「脱温暖化行動キャンペーン京都ネットワーク」を立ち上げ、2月の1ヶ月間、「脱温暖化行動キャンペーン ～地球の未来にやさしい風を～」を実施しました。

フォーラムとしては、1 戦略的な新規創出メニュー(交通)、2 戦略的な新規創出メニュー(エネルギー等)、3 統一行動メニューの3つの取組を行ったほか、このキャンペーンのホームページ作成も担当しました。

■戦略的な新規創出メニュー(交通)

① まちなかのお買い物は 公共交通がお値打ち!

「地下鉄+お買い物=100円バス」

まちなかへの買い物客に対する公共交通利用促進を目的に、京都市営地下鉄1日乗車券を利用してまちなかへ来た方に対し、特典として京都市バス100円循環バスの無料乗車券をプレゼントしました。

これらの取組により、交通局や教育委員会、店舗と協力関係を築くことができました。

② 「地下鉄・市バスを乗りこなそっ」

182名が参加

子どもの公共交通利用促進を目的に、希望する子どもに、子ども用市バス1日乗車券と子ども用地下鉄1日乗車券をプレゼントし、後日、乗車券を使ってどこ

に行ったかの報告をしてもらいました。公共交通を使うとどれだけCO2を削減することができるか、気付いてもらうことができました。



↑子ども用市バス1日券(左)と子ども用地下鉄1日券(右)をプレゼントしました。

■戦略的な新規創出メニュー(エネルギー等)

① 区役所への省エネ相談所設置

572名の市民が参加

京都市内の区役所・支所14か所に、省エネ相談所を設置し、省エネ相談員が、家庭における省エネ相談を行いました。また電器店の協力を得て、相談を受けた人に、省エネ電気製品の特別割引券が付いた省エネ診断証明書を進呈したほか、いくつかの区役所・支所ではエアコンの買い替え診断も行いました。

初めて区役所で省エネ相談を実施し、様々な層の方に、じっくりと時間をかけて、省エネのアドバイスをさせて

いただくことができました。



↑醍醐支所での省エネ相談の様子

②レジ袋の有料化及びマイバック持参の呼びかけ 21事業者・589店舗が参加

レジ袋配布量を削減するため、レジ袋の有料化又は削減の取組強化を行ってくれる京都府内の小売店を募集しました。市民に対しては、お買い物へのマイバック持参の呼びかけを行いました。

京都において、各団体・事業者が「マイバッグ等の持参促進及びレジ袋の削減に関する協定」締結に参加するなど、事業者・市民がレジ袋配布量の削減に取り組む中、レジ袋削減・有料化の流れを一層強めることができました。

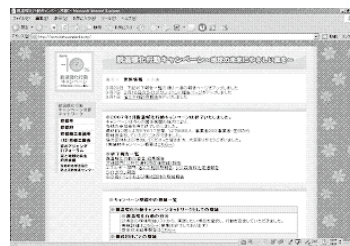


← 商店街のポスター
掲示の様子

■ 統一行動メニュー 総計12万688人（4万5613世帯）及び283事業者・団体が参加

市民、事業者、エコドライブの3分野で、計25個のCO2を出さない取組メニュー（統一行動メニュー）を設定し、キャンペーンの趣旨に賛同する団体、事業者、個人に取り組んでももらいました。

脱温暖化行動キャンペーン京都ネットワークで企画を行い、その中でフォーラムは、基本メニューの設定、チラシの作成を中心に行いました。



←フォーラムが
作成を担当した
キャンペーンの
ホームページ

<http://www.datsuondanka.org/>

（２）重点プロジェクトの推進

企画会議にて、ワーキンググループから提案されていたプロジェクトの中から、①持続型社会に向けて社会システムの変革を促すもの、②地球温暖化防止に高い効果の見込めるもの（交通、エネルギーなど）、③テーマ横断的に取り組むことで事業効果が高まるもの、④パートナーシップで進めることで効果を発揮するもの、⑤プロジェクトの実現可能性の高いものという5点をふまえ、実施するものを選定しました（優先度の高い順に「重点プロジェクト」、「主要プロジェクト」、「実施プロジェクト」）。

■ 「歩いて楽しいまちなか戦略実現に向けた市民参加機会の創出」（重点プロジェクト）

「歩いて楽しいまちなか戦略」の実現に向け、市民から意見や提案を集める機会を積極的に設けました。

- ・「まちなかを歩く日」の都心アンケート調査や、駐輪場利用者に対する利用実態調査を行い、調査結果をレポートにまとめました。
- ・「京の交通交流ひろば」の掲示板に市民が意見交換できる場をつくりました。
- ・京都市の関係部局に調査結果の報告を行い、意見交換を行いました。また「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」幹事会で委員として発言しました。
- ・3月11日に、NPO法人環境市民とともに、都心の歩行者空間のあり方をテーマにしたワークショップ「歩行者が主役のまちづくり ～安心して歩ける京都の

都心部を目指して～」を開催しました。

都心の交通実態を調査によって明らかにするとともに、交通変革を求める多くの市民の声を集めました。



←ワークショップの様子

■ 京都・自然エネルギーネットワークづくり（主要プロジェクト）

京都市内を中心に自然エネルギーの利用状況を調査し、フォーラムのホームページ上で、自然エネルギー設備設置施設のマップ「きょうと自然エネルギーマップ」を公開しました。現在104件分を掲載しています（2007年3月時点）。市民や事業者に情報提供を呼びかけ、情報が寄せられています。市民からの情報が反映される仕組みにしたことで、市民の自然エネルギーの利活用のへ関心の高まりに寄与することができ、マスコミにも取り上げられました。

3月17日には自然エネルギー設備設置者の交流会「エコエネ交流会 ～本音で話そう 自然エネルギー！～」を開催しました。自然エネルギーを利用されてい

る方々などが交流を深め、ネットワークを築く場となりました。



← ウェブサイト
「きょうと自然エネルギーマップ」

<http://ma21f.infoseek.co.jp/ecomap/remaps.html>

■KES※環境取組事例集の発行（主要プロジェクト）

独自に環境レポートを作成することが難しい中小事業者の皆さんに、KESによる環境改善活動の成果、実績を報告する場を提供し、市民とのコミュニケーションにつなげていくこと、及び既に活動を活発に進めておられる事業者、これから取組を始められる事業者の皆さんに参考にしてもらうことを目的に、KES環境取組事例集を作成・発行しました。

作成にあたっては、京都府地球温暖化防止活動推進センターにもご協力いただきました。41事業者を掲載し、1万部発行しました。

※KES：KES・環境マネジメントシステム・スタンダード。フォーラムが生み出した、中小企業等でも取得しやすい環境マネジメントシステム。

■公共交通利用促進のための冊子「京都の市バス便利ガイド」発行（実施プロジェクト）

市バスが行っている、利用者の増加に向けた運賃の割引や携帯電話によるバス接近表示の案内、環境に配慮したバス車両や環境定期券制度など、様々な

サービスや環境の改善の取組を冊子にまとめ、発行しました。

■環境にやさしい修学旅行の提案チラシの作成、学校への発送（実施プロジェクト）

京エコロジーセンターと連携し、先生・生徒向けの環境に配慮した修学旅行の提案チラシを作成し、全国

6500の中学校、高校に発送しました。

■京都の中小事業者による、環境に関する地域社会貢献事業の検討、仕組みづくり(K-CSR)

京エコロジーセンターの平成18年度地球温暖化防止先進モデル事業として実施。

企業活動ワーキンググループなどで構成されるK-CSR推進プロジェクトチームが、それぞれの地域で、企業、学校、地域住民が協力して環境問題に取り組む「環境コミュニティづくり」を目指した活動を行いました。

試行事業として、地域のKES取得事業者等の方々が、藤ノ森小学校（伏見区）で出前授業を行いました。参加事業者からは、「当初は会社の宣伝にもなる、と思って始めたことだったが、自分自身の貴重な体験となり、心から喜びを得ることができたのが何よりも嬉しい」「社員教育の一環として大変価値のあるものだと思う（経営者）」というような意見をいただきました。このプロジェクトは、教育委員会や学校関係者、事

業者、NPOなど様々な主体の協力により実施され、先進的な取組として、新聞にも多く掲載されました。



←「元地の企業が、児童達を驚かせて登場。」

（３）フォーラム改革プラン2006の実行

「京のアジェンダ21フォーラム改革推進プロジェクトチームによる2006年度改革推進方針の提案」の中の「2006年度の取り組み方針案」に沿って、改革を推進しました。

（１）組織の改革（幹事会および常任幹事会）

幹事会の改革と活性化

幹事会を幅広い関係者がフォーラムに関わる場として再生することを目指し、議事終了後にまとまった意見交換の時間を取ることとしました。これにより、多くの幹事から活発に意見が出されるようになり、脱温暖化行動キャンペーンなどの事業に生かされました。

常任幹事会の改革方向

将来的に常任幹事会を、フォーラムの活動を方向付ける場（企画会議）に発展させることを目指し、試行的にプロジェクトチーム「企画会議」を設けました。WGから提案されたプロジェクトの選定、来年度以降の活動方針について検討、幹事会に提出する活動方針（案）のとりまとめを行いました。

（２）ワーキンググループ（WG）の再編

WGとプロジェクトの分離

WGコーディネーター会議にて、各WGで実施中、実施予定の事業について、2006年度からは内容をプロジェクトの形に組み替えること、また、WG自体はプロジェクトの進捗状況の報告や新たなプロジェクトの企画検討を主な活動内容とすることが決定されました。

その後企画会議にて、各WGから提案されたプロジェクトから、「重点プロジェクト」、「主要プロジェクト」、

「実施プロジェクト」を決定し、事業の選択と集中、効率化を進めることができました。

（３）事務局（市役所および事務所）の改革

市役所と事務所の役割の明確化

市役所側は市役所他部局（交通局、都市計画局、産業観光局、区役所他）とのつながを行い、事務所側はフォーラムの実施事業の企画・準備・運営等全般に関わるといように役割分担を行いました。

（４）広報・情報・交流

企画会議で、インターネットを活用した広報を強化する方針が決定され、事務局で広報を郵送からネット中心に移す準備を行っています。

一般市民向けのニュースレター『あじえんだ』は、新規会員の獲得やフォーラムの広報において重要な役割を担っていることから、今後も発行を続けることとし、『事務局通信 月刊あじえんだ』は、写真やイラストなどを用いてより見やすい紙面づくりを行っています。

また、会員交流会「サロンdeエコ」を開催しました。

（５）京のアジェンダ21と規約の見直し

京のアジェンダ21の再読

インターネット上に「京のアジェンダ21」全文を掲載しました。

(4) 情報・広報活動の実施

ニュースレター『あじえんだ』、事務局通信『月刊あじえんだ』、ホームページやメールニュース等電子媒体を通じて、フォーラム会員や一般市民に向けて、役に立つ情報を提供するよう努めました。

(P.3 フォーラム改革プランの実行2006 (4) 広報・情報・交流) 参
んだ』に同封して、団体会員等の行事案内等を送付しま
した。

■ホームページを整備・運用

ワーキンググループのページを見やすくリニューアル
したほか、京のアジェンダ21の全文を掲載しました。
(URL: <http://ma21f.web.infoseek.co.jp/>)

■ニュースレター『あじえんだ』を発行

一般市民向けのニュースレター『あじえんだ』第25
号を発行しました。2007年2月の脱温暖化行動キャンペ
ーンを特集し、取組の報告、参加者募集の呼びかけのほ
か、キャンペーンへの参加・協力事業者の取組をPRしま
した。会員に送付するとともに、区役所等に置いてもら
い、広く市民に配布しました。(4,000部発行)

■事務局通信『月刊あじえんだ』を発行

フォーラムの活動報告や活動予定などタイムリーな情
報を掲載する機関紙『月刊あじえんだ』を年10回発行し、
会員に送付しました。(各約500部発行)

また、ニュースレター『あじえんだ』や『月刊あじえ

■イベント情報の発行

フォーラム、京エコロジーセンター、京都市ごみ減量
推進会議との三者連携により、フォーラム会員主催等の
イベント情報を掲載した『京都環境イベントカレンダー
』を毎月発行し、会員に送付しました。

■メールニュース・メーリングリストを運用・整備

広く会員以外の方にも情報を伝えるメールニュース
『週刊あじえんだ』を発行し、ホームページからも登録
できるようにしました。(16回発行)

また、WGごとのメーリングリストの運用を行いました。

■平成17年度事業報告書を作成

平成17年度の活動状況等をまとめた報告書を作成し、ホ
ムページに掲載しました。

(5) 協力・出展・後援等

・後援事業8件

・協力出展等3件

・委員就任8件

・講師派遣2件

■協力

- ・「愛を感じる旅をしよう2007 ～京都におけるエコツーリズム～
(京エコロジーセンター主催)」(エコツーリズムWG)
- ・祇園祭の環境対策検討、京都サングF.C.主催試合
へのリユース食器導入検討(えこまつりWG)

■出展

- ・パネル展示「気候変動に関する世界市長首長協議会」等

■協定に参加

- ・「マイバッグ等の持参促進及びレジ袋の削減に関する協定」

○委員派遣会議名(委員名)

- ・京エコロジーセンター事業運営委員会(幹事長 小幡範雄)
- ・京都省エネラベル協議会運営委員会
(事務局 滋野浩毅、小山直美)

- ・京都府地球温暖化防止活動推進センター運営委員会
(事務局 竹村光世)
- ・京都府地球温暖化対策プラン検討会議
(事務局 竹村光世)
- ・京都グリーン購入ネットワーク
(事務局 滋野浩毅、小山直美)
- ・歩いて暮らせる街づくり推進会議
(環境にやさしい交通体系の創出WG 恩地惇)
- ・嵐山交通対策研究会
(環境にやさしい交通体系の創出WG 渡辺洋)
- ・東山交通対策研究会
(環境にやさしい交通体系の創出WG 恩地惇)
またオブザーバーとして、醍醐コミュニティバス市民の会
(醍醐地域の自治町内会及び地域女性会他で構成)の運
行管理委員会に参加(事務局 滋野浩毅、長谷川吉典)。

2 会議の開催

開催実績

- ・総会(6月27日)
- ・幹事会(6回)
- ・常任幹事会(5回)

- ・企画会議(4回)
- ・脱温暖化行動キャンペーン2006 プロジェクトチーム
会議(2回)
- ・WGコーディネーター会議(2回)
- ・WG等の会議を随時開催しました。

3 会員

2007年3月末日現在の会員数

個人会員 276 団体会員 276
合計 552

4 事務局

(1)事務局体制

事務局チーフコーディネーター1名(12月末まで)
事務局コーディネーター3名
KES認証事業部は事務局長1名、常勤スタッフ4名
(KES認証事業部は2007年4月にNPO法人化)

(2)所在地

○事務局(2007年6月現在)

〒604-8101
京都市中京区柳馬場通御池下ル柳八幡町65

京都朝日ビル4階
京都市総合企画局地球温暖化対策室内
TEL: 075-211-9281 FAX: 075-211-9286

○事務所

〒612-0031
京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター内
TEL: 075-647-3535 FAX: 075-647-3536
E-mail: ma21f@mbx.kyoto-inet.or.jp
URL: <http://ma21f.web.infoseek.co.jp/>

第2号議案 2006（平成18）年度収支決算について

2006(平成18)年度収支決算報告書(案)

[一般会計]

◇収支計算書

	大 科 目	中 科 目	予算額(C)	決算額(D)	差額(D-C)
収 入	会 費 収 入		750,000	715,000	▲ 35,000
	事 業 収 入	企 画 ・ 催 事	60,000	385,021	325,021
		物 品 販 売	20,000	77,550	57,550
	補 助 金 収 入			0	0
	助 成 金 収 入		0	0	0
	受 託 金 収 入		17,664,000	17,664,000	0
	雑 収 入		902	3,554	2,652
	前 年 度 繰 越 金		1,887,098	1,887,098	0
	小 計(A)		20,382,000	20,732,223	350,223
	大 科 目	中 科 目	予算額(C)	決算額(D)	差額(C-D)
支 出	事 業 費	情報収集・提供	2,700,000	2,231,101	468,899
		事業活動	2,600,000	2,363,836	236,164
		交流・共催	400,000	365,207	34,793
		キャンペーン活動	1,000,000	1,006,841	▲ 6,841
		研修	0	0	0
		調査研究	0	0	0
	管 理 費	会議費	355,000	370,283	▲ 15,283
		人件費	10,720,000	10,587,976	132,024
		一般事務費	1,807,000	1,889,772	▲ 82,772
	予 備 費		800,000	0	800,000
	小 計(B)		20,382,000	18,815,016	1,566,984
収 支 差(A-B)			0	1,917,207	

支出内訳(一般会計)

勘定科目及び金額		18年度 決算額	摘 要	
大科目	中科目			
事業費	情報収集・提供	2,231,101	季刊作成・発行	157,380
			月刊掲載漫画原稿謝礼	33,333
			広報業務統括謝礼	700,000
			資料送付等	19,410
			送料(月刊, 季刊)	695,995
			封筒作成	72,450
			インターネット会費・サービス料	51,847
			メールニュース管理	88,886
			パソコン, ソフト購入等	411,800
	事業活動	2,363,836	フォーラム改革推進 企画会議開催経費等	20,428
			重点プロジェクト 歩いて楽しいまちなか戦略	427,938
			主要プロジェクト 環境取組事例集の作成	234,570
			京都・自然エネルギーネットワークづくり	133,093
			実施プロジェクト 公共交通利用促進事業市バス冊子発行	772,360
			環境に優しい修学旅行の提案チラシ発送	91,593
			ワーキンググループ会議開催経費等	74,198
			事務局職員ワーキンググループ活動経費 交通費, 消耗品費等	244,833
			パソコン購入等	364,823

勘定科目及び金額		18年度 決算額	摘 要
大科目	中科目		
事業費	交流・共催	365,207	サロンdeエコ開催経費 310,420 関係団体等会費 24,367 関係団体事業協賛金等 30,420
	キャンペーン活動	1,006,841	交通部門取組 100円バス利用促進 61,020 子ども1日乗車券利用 106,328 ポスター作成等 136,085 エネルギー部門取組 省エネ相談所設置 436,903 レジ袋取組促進 94,815 HP運営等 171,690
	研修	0	
	調査研究	0	
	会議費	370,283	総会会場使用料 67,900 総会開催経費 261,645 幹事会会場使用料 15,038 幹事会交通費 25,700
	人件費	10,587,976	賃金 9,547,421 保険料(事業主負担分) 1,040,555
	一般事務費	1,889,772	事務所 電気代相当分 180,000 消耗品 305,364 事務費(電話, コピー料金等) 234,490 税理士報酬 210,840 消費税 589,100 法人税 70,000 パソコン購入 299,978
次年度繰越金			
合 計		18,815,016	

2006(平成 18)年度収支決算報告書(案)

[寄付金特別会計]

◇収支計算書

	大 科 目	中 科 目	予算額(当初)	予算額(補正後)(C)	決算額(D)	差額(D-C)
収 入	寄 付 金 収 入		50,000	50,000	144,750	94,750
	雑 収 入		15	15	341	326
	KES特別会計繰入金収入		0	5,000,000	5,000,000	0
	前 年 度 繰 越 金		731,985	731,985	731,985	0
	小 計(A)		782,000	5,782,000	5,877,076	95,076
	大 科 目	中 科 目	予算額(当初)	予算額(補正後)(C)	決算額(D)	差額(C-D)
支 出	事 業 費		0	0	0	0
	管 理 費		0	0	0	0
	小 計(B)		0	0	0	0
収 支 差(A-B)			782,000	5,782,000	5,877,076	95,076

平成18年度 京のアジェンダ21フォーラム 収支決算(KES認証事業部特別会計)

2006年3月31日

	大科目	中科目	摘要	18年度予算額(税込み)	18年度決算額(税込み)	
収入	事業収入	審査	審査・登録料	60,833,000		75,801,725
			ステップ1		@58,800*127 @40,330*380	
			ステップ2		@206,850*58 @116,780*223	
		コンサルタント	コンサルタント料	16,422,000		14,694,440
			ステップ1		@31,500*260	
			ステップ2		@58,800*140	
		構築講座	受講料	4,500,000	@187,500*24	6,139,545
	物品販売	印刷物売上	1,520,000		1,090,195	
	雑収入	その他			17,624	
合計				83,275,000	97,743,529	
支出	事業費	審査	審査謝礼・交通費	37,345,140		41,189,335
			ステップ1		@47,040*127 @31,734*380	
			ステップ2		@93,083*58 @62,391*223	
		コンサルタント	コンサルタント謝礼・交通費	12,726,000		13,046,305
			ステップ1		@25,200*260	
			ステップ2		@44,100*140	
		構築講座		1,291,200		1,483,201
			会場費		@32,240*12	
			謝礼・交通費		@75,360*12	
		物品製作	印刷物	1,216,000		867,400
		小計		52,578,340		56,586,241
	一般事務費	会議費	判定委員会謝礼	2,544,000	@36,000*14	7,225,736
			会議飲食費		@100,000*6	
			審査員研修会手当		@210,000*6	
			研修会室料		@30,000*6	
		人件費	事務人件費	13,704,000	@1,142,000*12	18,297,395
		一般事務費	交通費	14,448,660	@320,000*12	12,480,762
			事務所室料		@200,000*12	
			事務用品費		@200,000*12	
			郵送料		@100,000*12	
			リース・保守費		@70,000*12	
			通信費		@60,000*12	
			雑費		3,048,660	
			小計		30,696,660	
		合計			83,275,000	
当期収支差額			0		3,153,395	
前期繰越金			12,748,431		7,748,431	
次期繰越金			12,748,431		10,901,826	
					500万寄付金	

監 査 報 告

京のアジェンダ21フォーラム

代 表 内 藤 正 明 様

平成18年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の事業及び会計についての監査の結果、適正に執行されていたので報告します。

以 上

平成 19 年 5 月 31 日

監 事

原 弘 

監 事

幸 前 清 孝 

第3号議案 2007（平成19）年度活動方針及び事業計画について

2007（平成19）年度活動方針（案）

これまで京のアジェンダ21フォーラム（以下「フォーラム」）では『京のアジェンダ21』の実現という使命の達成に向け、毎年度、単年度の活動方針と事業計画を決定するかたちで運営してきた。しかし、2007年度の活動方針を検討するにあたり、2010年という京都市の温室効果ガス排出量10%削減の目標年が近づいていること、また「気候変動に関する世界市長・首長協議会」京都会議で議論になった現在の世界の気候変動に関する認識のレベルなどを考えると、フォーラムも長期的な視点の展望を確認した上で、これからの毎年度の活動計画を策定することが望ましい。

そこで、今年度は2007・2008・2009年の複数年にまたがる活動方針を設定し、これに基づいて2007年度の事業計画を決定する。

<2007・2008・2009年の複数年にまたがる活動方針>

フォーラムは、以下の内容を2007・2008・2009年の複数年にまたがる活動方針とし、今年度はこの方針に基づき活動する。

長期展望の策定とその実現に向けた働きかけ

ー 10%に向けた重点取組

分野①「環境にやさしい交通体系の創出」

分野②「民生業務・家庭における省エネルギー・自然エネルギー」

（1）長期展望の策定とその実現に向けた働きかけ

京都議定書の「第1約束期間」が始まる2008年を目前に控え、これまでの取組成果が問われる一方で、2013年以降の枠組について検討が始まっている。その検討の中で、ヨーロッパのいくつもの国々が、温室効果ガスの排出量を大幅に削減することを掲げている。「第1約束期間」の目標達成については、これを通過点として捉え、より先を見据えた取組がなされるべきといえる。

京都市において「環境と共生する持続型社会」、「脱温暖化社会」を構築するために、社会・経済構造の変革をも視野に入れた長期展望についての検討と合意形成に取り組む必要がある。この社会・経済の変革には市民の合意がなくてはならないことから、パートナーシップの機能が求められる。

こうした状況において、フォーラムとしては、京都市における温室効果ガス排出量の大幅削減実現のための調査研究に着手し、多様な主体が参加している幹事会において、『京のアジェンダ21』の見直しを視野に入れた、長期展望の策定とその実現に向けた働きかけを進める。

（２）－10%に向けた重点取組

2010年の温室効果ガス排出量削減目標達成に向けての活動方針・計画を策定する必要がある。また人的・資金的なフォーラムの現状から考えると、重点的に取り組む活動を絞り込むべきである。

なおフォーラムが2006年度の活動で踏み出した取組（脱温暖化行動キャンペーン）について、継続して一層の前進を図ることも重要である。

以上のことから、フォーラム活動の選択と集中を図り、目標達成に向けて重点的に取り組むべきポイントを以下の2分野とする。

分野①「環境にやさしい交通体系の創出」

市民、事業者、観光客にとって、移動手段が地球温暖化防止に資する快適で利便性が高いものであるとともに、環境と調和した観光面からも優れた都市づくりに向けて、「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進をはじめとする環境にやさしい交通体系の創出を目指す。

分野②「民生業務・家庭における省エネルギー・自然エネルギー」

環境配慮型の経営をするKES認証取得企業等と地域住民、学校との結びつきを深め、それを核とした地域ぐるみの環境活動の支援を行う。京エコロジーセンターや地域組織と連携し省エネに関する活動の活性化に取り組む。市民共同発電所などを活かした自然エネルギーの普及に取り組む。これらの活動を後押しする制度づくりに踏み出す。

（参考）

京都市での温室効果ガス排出部門と対策・活動を整理すると次のようにおおまかに分けることができる。

温室効果ガス排出部門	対策・活動
産業部門（一定規模以上）	省エネ法、地球温暖化対策条例
産業部門（中小規模）	KES
民生業務部門（一定規模以上）	省エネ法、地球温暖化対策条例
民生業務部門（中小規模）	KES
家庭部門	省エネラベル、省エネ相談、など
交通部門	あるいてくらせるまち、など
エネルギー部門	市民共同発電所、自然エネルギーマップ

これらすべての分野において、かつ部門横断での温室効果ガス排出削減に取り組む必要があるが、フォーラムの活動方針としては、着実かつ大きな成果を目指し、対象を明確にして実績のある活動を戦略的に展開していくべきである。

その意味で、フォーラムのこれまでの活動成果を活かすことが可能な分野を挙げるならば、民生業務部門（中小規模）、家庭部門、交通部門、エネルギー部門が中心だといえる。

2007（平成19）年度事業計画（案）

2007（平成19）年度活動方針に基づき、以下〈1〉～〈5〉の2007（平成19）年度事業を実施する。

〈1〉京のアジェンダ21推進に向けた長期的戦略の検討 124.5万円（新規）

京都議定書の「第1約束期間」を目前に控え、これまでの取組成果が問われる一方で、それ以降の枠組の検討が始まっている。活動方針にも掲げているとおり、京都においても「環境と共生する持続型社会」、「脱温暖化社会」を構築するために、社会・経済構造の変革をも視野に入れた長期展望についての検討と合意形成に取り組む必要がある。

こうした社会・経済構造の変革には、市民・行政のパートナーシップによる多様な主体の合意とこれに基づく行動が不可欠であることから、京都市内における温室効果ガス排出量の大幅削減を実現するための取組について、更なる検討を深めるとともに、長期的な観点から環境と共生する持続型社会の展望の策定とその実現に向けた働きかけを進める。

このため、今年度は、京都市地球温暖化対策条例及び京都市地球温暖化対策計画の進捗状況などを踏まえ、政策・仕組みづくり等について検討する場として、フォーラム内にプロジェクトチームを設けるなど、京都市の「環境先進都市・京都の未来を描く」事業とも連携し、長期的な展望に立って、戦略を検討する。

〈2〉-10%に向けた重点取組

（1）脱温暖化行動キャンペーン 100万円（2006（平成18）年度 100万円）

2006（平成18）年度に実施した脱温暖化行動キャンペーンを、今年度も継続し、更に発展させた形で実施する。昨年度と同様、プロジェクトチームを設置し、そこで検討を行う。

案：戦略的な新規創出メニュー（交通、エネルギー）の取組を発展させる。

（２）プロジェクトの実施 160万円（2006（平成18）年度 160万円）

フォーラムの目的やミッション、活動方針に見合ったテーマ別プロジェクトの実施をする。

プロジェクト	名称	予算額 (万円)
重点	京都環境コミュニティ活動（KE S C）事業	50
	（内容）学校区を単位として、地域住民、学校、企業が連携して環境取組を継続して行う仕組みづくりを行う。	
主要	環境調和型観光の統合パッケージの開発プロジェクト	28.5
	自然エネルギー・コミュニティづくりプロジェクト	35.5
実施	環境にやさしい修学旅行提案事業	7
	「交通ワーキングだより」制作配布プロジェクト	6
	ウェブサイト「京の交通交流ひろば」の運営	1
	京都版・グリーン電力プロジェクト	14.5
	サンガ・グリーンゴール・プロジェクト	6.5
合 計		149
予 備 費		11

＜３＞フォーラム改革の継続 10万円（2006（平成18）年度 100万円）

2006（平成18）年度は、2005（平成17）年度に策定した「戦略検討委員会報告～フォーラム改革への提案～」を踏まえ、短期的な取組計画であるフォーラム改革プランに沿い、試行的プロジェクトチーム「企画会議」において、一定の改革を進めてきた。

2007（平成19）年度は、昨年度に引き続き、企画会議を中心として、フォーラム改革プランの中で、未着手のものに取り組む。

○組織の改革

- ・常任幹事会のあり方について、企画会議での検討を続け、年度末までに結論を出す。

○ワーキンググループ（WG）の再編

- ・WGの統合について（昨年度1年間の活動を踏まえて企画会議で検討）

○事務局（市役所および事務所）の改革

- ・事務所の立地を見直す
- ・事務局の強化（増員）について検討
- ・フォーラムと会員との関わり方の見直し

○広報・情報・交流

- ・情報の共有化をさらに促進する
- ・ネットの活用
- ・会員を中心とする「交流」の機会づくり

○京のアジェンダ21と規約の見直し

- ・京のアジェンダ21（長期展望を目指しての検討の中で「京のアジェンダ21」も視野に入れた検討を行う。）
- ・規約の見直し（企画会議の結論を受けて）

＜4＞情報収集・提供 254 万円（2006（平成 18）年度 270 万円）

フォーラム会員や、より多くの市民に、京のアジェンダ 21 の取組を紹介し、協力を得て、主体的な行動や推進に向けた新たな取組への参加を促し、フォーラムの活動を広めるために、情報の収集・提供を行う。

○ニュースレター「あじえんだ」発行（年 2 回予定）	49 万円（2006 年度 98 万円）
○事務局通信 月刊あじえんだ発行（年 12 回）	159 万円（2006 年度 138 万円）
○メールニュース	29 万円（2006 年度 29 万円）
○ホームページ再編成	12 万円（新規）
○インターネット会費	5 万円（2006 年度 5 万円）

＜5＞交流・共催 100 万円（2006（平成 18）年度 40 万円）

初心者が入りやすい、市民に開かれた場や、会員間の意見交換・交流の促進を図るため、サロンや発表会等を開催する。

以上

第4号議案 2007(平成19)年度収支予算について

2007(平成19)年度収支予算(一般会計) (案)

◇収支計算書

	大 科 目	中 科 目	2006(平成18) 年度 予算額	2006(平成18) 年度 決算額	2007(平成19) 年度 予算額	摘要
収 入	会費収入		750,000	715,000	800,000	
	事業収入	企 画 ・ 催 事	60,000	385,021	760,000	
		物 品 販 売	20,000	77,550	22,000	
	補助金収入		0	0	0	
	助成金収入		0	0	0	
	受託金収入		17,664,000	17,664,000	17,664,000	
	雑収入		902	3,554	3,793	
	前年度繰越金		1,887,098	1,887,098	1,917,207	
	合 計		20,382,000	20,732,223	21,167,000	
支 出	事業費	情報収集・提供	2,700,000	2,231,101	2,540,000	
		事業活動費	2,600,000	2,363,836	2,945,000	
		交流・共催事業	400,000	365,207	1,000,000	
		キャンペーン活動	1,000,000	1,006,841	1,000,000	
		研修	0	0	0	
		調査研究	0	0	0	
	管理費	会議費	355,000	370,283	501,000	
		人件費	10,720,000	10,587,976	10,720,000	
		一般事務費	1,807,000	1,889,772	1,661,000	
	予備費		800,000	0	800,000	
	次年度繰越			1,917,207		
	合 計		20,382,000	20,732,223	21,167,000	

2007(平成19)年度収支予算内訳

項 目	2007(平成19) 年度予算(円)	2006(平成18) 年度予算(円)
[情報収集・提供]		
○季刊発行 印 刷	240,000	480,000
編集・取材謝礼	160,000	320,000
発 送	90,000	180,000
○月刊発行 編集・発行作業の業務謝礼	840,000	700,000
発 送	660,000	590,000
漫画原稿謝礼	40,000	40,000
封筒作成	50,000	51,000
○ホームページ再編成	120,000	0
○インターネット会費	50,000	50,000
○メールニュース管理	290,000	289,000
[事業活動]		
○フォーラム改革推進	100,000	1,000,000
○プロジェクト実施経費	1,600,000	1,600,000
○京のアジェンダ 21 推進に向けた長期的戦略の検討	1,245,000	0
[交流・共催事業]		
○サロン、発表会、相談会	1,000,000	400,000
[キャンペーン事業]		
○脱温暖化行動キャンペーン	1,000,000	1,000,000
[会議費]		
○会場使用料	117,000	130,000
○総会資料作成・送付	354,000	150,000
○交通費	30,000	75,000
[人件費]		
○事務所職員給料等	10,410,000	10,410,000
○WG アシスタント, アルバイト経費	310,000	310,000
[一般事務費]		
○事務局電気代相当費	180,000	180,000
○通信費	300,000	400,000
○消耗費	300,000	627,000
○消費税等	881,000	600,000
[予備費]	800,000	800,000

2007(平成19)年度収支予算(寄付金特別会計)(案)

◇収支計算書

	大 科 目	中 科 目	2006(平成18) 年度 予算額	2006(平成18) 年度 決算額	2007(平成19) 年度 予算額	摘要
収 入	寄付金収入		50,000	144,750	50,000	
	雑収入		15	341	924	
	KES特別会計繰入金収入		5,000,000	5,000,000	0	
	前年度繰越金		731,985	731,985	5,877,076	
	合 計		5,782,000	5,877,076	5,928,000	
支 出	事業費		0	0	5,000,000	
	管理費		0	0	0	
	次年度繰越金		5,782,000	5,877,076	928,000	
	合 計		5,782,000	5,877,076	5,928,000	

第5号議案 幹事及び監事の選任について

〔京のアジェンダ21フォーラム 幹事・監事 候補者案〕

(五十音順)

＜幹事＞ 定員30名

浅岡美恵	弁護士
阿蘇紀夫	財団法人京都市環境事業協会 京エコロジーセンター事業長
石谷彰男	環境クラブ京都 会長
伊東真吾	京都府地球温暖化防止活動推進センター 事務局長
今嵐正三	京都府中小企業団体中央会 事務局長
大島 仁	京都市 都市計画局長
奥原恒興	京都商工会議所 専務理事代行
小幡範雄	立命館大学政策科学部 教授
草川健治	京都市 環境局長
桑原 毅	株式会社京都新聞社 報道局次長兼社会報道部長
佐合 真	株式会社京都放送 ラジオ編成局長
杵本育生	特定非営利活動法人環境市民 代表理事
田浦健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク 事務局長
高田光治	財団法人京都ユースホステル協会 ユースホステル部長
高橋 修	京都市 地球環境政策監
高橋肇子	京都市地域女性連合会 常任委員
谷口正克	社団法人京都工業会 理事
津村昭夫	特定非営利活動法人K E S 環境機構 専務理事
都鳥正喜	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 事務局長代理政策調整監
内藤正明	京都大学名誉教授・特定非営利活動法人循環共生社会システム研究所代表理事
中井敏宏	京都府企画環境部 環境政策監
中川 大	京都大学大学院工学研究科 教授
中川藤兵衛	京都商店連盟 事務局長
西村仁志	環境共育事務所カラーズ 代表
本部正一	社団法人京都市観光協会 事務局長
松井 雄	社団法人京都青年会議所 副理事長
森井保光	京都市 産業観光局長
文字英夫	社団法人京都ボランティア協会 理事
山内 寛	山科保健協議会連合会 会長

＜監事＞ 若干名

幸前清孝	環境クラブ京都 副会長
原 強	特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 理事長